

## ※ ワニのシーソー

シーソーを勢いよく動かしすぎた反動や、急に降りたりしてびっくり返ってしまう。また、持ち手の隙間に指を挟んでしまう。  
→ 友だち同士で声をかけて遊ぶように伝えている。  
→ 補強方法はもう少し検討した方がよい。



## 1. 非常階段脇の通路、横の隙間、階段下

脇の通路：階段脇の通路手前にラティスが置いてあるが、入りやすく見えにくい。

- もう少し手前に置いたり、子どもが入っていかないような工夫をすることで、目が行き届くと考えられる。

横の隙間：かくれんぼなどで3歳以上児が奥まで入ってしまうことがある。講師の隙間から足を入れたり、中のほうきなどが飛び出していたりすると、怪我の危険性も考えられる。

- 死角になりやすいので、子どもたちに声をかけ、中に入らないようにする。
- 格子内の用具をきちんと片付けるようにする。

階段下：ラティスやパネルなどで入れないように囲っているが、全く入れないわけではない。入ってしまった場合、死角となる。

- 入ってはいけないことを子どもたちに伝える。

## 2. 砂場の周辺

丸太部分に砂がのっているため、子どもたちが足を滑らせやすい。また、周囲の地面が凸凹しているので、つまづきやすい。

- こまめに砂を掃除したり園庭の整地を行う。



## 5. スピカ周辺

まわしすぎて気分が悪くなったり、落ちてしまったりする。遠心力で身体が降られ、周りの子どもとぶつかったり、夢中になりすぎ足りすることがある

- 回っている側を歩かないように注意したり、ぶつかってもあるので注意したりする。
- 目が回ってしまうこともあるので、必要以上に回しすぎないように声をかける。



## 3. クローバーリーフ

揺らしすぎたり、定員オーバーで乗って、座面が地面につきそうなくらい揺らしていることもある。

- 揺らしすぎないように声をかける。
- ルールを守って遊ぶよう伝える。



## 4. なかよしハウス内部・周辺



内部の地面が凸凹しており、狭い空間のため、ちょっとしたつまづきなどで怪我につながりやすい。また、子ども背の高さに屋根のへりがあるため、頭などをぶつけやすい周囲に大きな石などがあるので、つまづきやすい。

- 内部、周辺は園庭整備（朝の準備、昼の片づけ）の際に地面をならしておく。屋根の角はクッション材で覆っておく。
- 近くで走って転ばないように声をかける。

## 6. すべり台

すべり台の下に入り込んだり、逆から登ろうとして、上から滑ってくる子どもとぶつかりそうになる時もある。鬼ごっこですべり台に逃げてくる子どももいる。階段を上る際に勢いをつけすぎてバランスを崩す時もある。また、下のいすで遊ぶ際も転ばないように注意する。

- 前の子どもがいなくなか確認したり、逆から登ってはいけないことを伝える。
- 子どもたちに使い方や遊び方を話し、危ないことにも気づけるようにしていく。
- 椅子をひもで固定したほうがよい。

